

香港日本語教育研究会会長
梁 安玉

会員の皆様、

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

香港日本語教育研究会は 1978 年に創立されて以来、香港内のみならず、世界各国・地域で日本語教育・日本研究に携わっている方々との学術・教育交流を進めると共に、香港における日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいりました。

2020 年は新型コロナウイルス感染の影響で、世界中が未曾有の災禍に見舞われながらも、新たな発見と可能性を見出された年でもあると思われまます。

さて、2020 年度における当研究会の活動でございますが、新型コロナウイルス感染対策による数々の制限の中で、皆様より長年のご協力と多大なご支援を賜り、おかげさまで例年通り 6 月に学会誌『日本學刊』の 第 23 号を出版し、香港及び海外の日本語教育、研究関係機関、会員に配送しました。

7 月と 9 月には第 10 回日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の書類審査と面接を行い、11 月に授与式を挙りました。奨学金は高校生と副学士課程の学生それぞれ 6 名に、プロジェクト賞はそれぞれ 14 名と 9 名に授与しました。2020 年度現在、奨学金の受賞者数は高校生が計 51 名、副学士課程の学生が 44 名で、プロジェクト賞の受賞者数はそれぞれ 110 名と 97 名となっています。

また、新しい試みとして 12 月に国際交流基金さくらネットワークの助成により「日本語教学における e ラーニングの組み入れ」の講演会及びワークショップを日本大学の保坂敏子教授と東京都立大学の加藤由香里教授を講師にお迎えし、オンラインにて開催しました。二日間で 19 の国と地域から、延べ 230 名あまりが空間と時間の制限を超え、ご参加くださったことは誠に喜ばしいことでございます。

さらに、香港で日本語教育に従事されている方々のご要望に応じるため、国際交流基金海外派遣日本語専門家の齋藤誠先生のご協力のもと、集中日本語教師研修の開講、日本語教育のオンラインワークショップおよび勉強会を実施し、好評を博しました。

日本語能力試験においては12月にマカオのみで2020年第2回(N1～N5)を実施しました。

そして、海外との交流をめぐっては、研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、オンラインにて日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシアの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流と情報交換に努めております。

最後になりましたが、在香港日本国総領事館をはじめ、国際交流基金、香港の日本関係各団体及び機関のご指導、ご鞭撻に、会員の皆様方の温かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。新型コロナウイルスの影響による異常事態の中で、2020年度における研究会の主要事業や行事が遂行できたことは、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力のおかげと心より感謝いたします。

今後も香港における日本語教育の普及と促進がますます繰り広げられますことを心より期待し、世界各地域との学術及び教育の交流、世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる促進と振興に貢献できましたら幸いです。そして、皆様とご一緒にポストコロナ時代における日本語教育の新たな可能性や道標を探究していけたらと心から願っております。

引き続き、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2020年度（2020年1月1日～12月31日）の当研究会の活動報告をまとめました。

- 2019年10月5日～2020年5月23日、2019-20年度集中日本語教師研修を開催しました。
- 4月9日と18日、オンライン勉強会「Zoom チャレンジ会（基礎編）」を開催しました。
- 5月23日と27日、オンライン日本語教育ミニワークショップ「探検！みんなの教材サイト」を開催しました。
- 6月、『日本学刊』第23号を出版し、総会にて会員へ配布し、香港及び海外の日本語関係機関に郵送しました。
- 7月2日と4日、オンラインミニワークショップ「『いろどり』を見てみよう」を開催しました。
- 7月11日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接を実施しました。
- 9月12日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を実施しました。
- 2020年9月26日～2021年5月29日、2020-21年度集中日本語教師研修を開催しました。
- 10月17日、香港日本語教育研究会第十二回総会を開催しました。
- 10月31日と11月4日、オンラインミニワークショップ「Can do から授業をデザインしよう」を開催しました。
- 11月7日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究関係のプロジェクト賞の授賞式を開催しました。
- 12月6日、マカオに2020年第2回日本語能力試験（N1～N5）実施しました。応募者数：423名。
- 12月12日及び13日、オンラインにて「日本語教学におけるeラーニングの組み入れ」の講演会及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金 JF にほんごネットワークでした。

【講演会】

- 1 「eラーニングを活用した日本語教育：Instructional Design に基づく学習デザイン」
講師：加藤 由香里 先生（東京都立大学 国際センター教授）
- 2 「遠隔教育による日本語教育－効果的なオンライン授業を探る－」
講師：保坂 敏子 先生（日本大学大学院 総合社会情報研究科教授）

【ワークショップ】

1 「eラーニング活用のメリット・デメリット」

講師：加藤 由香里 先生（東京都立大学 国際センター教授）

2 「アクティブラーニングのための反転授業デザイン」

講師：保坂 敏子 先生（日本大学大学院 総合社会情報研究科教授）

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。2020年度は計10回の会議を実施しました。

【月例会】

毎月第2土曜日(2時～4時)に、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施しました。

講師—香港で高等教育、中等教育、日本研究に携わっていらっしゃる方々です。2020年度は計4回開催し、参加者数は平均25名でした。

以上